

# 相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

# 33号

2008.8.9 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

## INDEX

【本号掲載分の活動】

- 3月22日(土) ... 第10回萌木まつり / 定例活動
- 4月26日(土) ... 山根口竹の除伐&総会 / 定例活動
- 5月23日(土) ... 小屋周辺整備 / 定例活動
- 6月14日(土) ... 弥富相生山線の道路工事現場見学 / 特別活動
- 6月28日(土) ... トンボ池周辺整備 & ジャガイモ収穫 / 定例活動

### 3月定例活動

## 森くらぶ結成10周年記念 元祖柴刈り大会 —第10回萌木まつり—



平成10年3月22日に結成された相生山緑地オアシスの森くらぶ、記念すべきその日から数えてきっちり10年たった3月22日(土)に、第10回萌木まつりとして、活動の原点ともいえる「元祖柴刈り大会」を開催しました。山桜も満開で、ツツジの朱色と足もと

の紫色のタムラソウで早春の相生山は晴れの日を祝うお化粧をした里山となりました。



▲作業内容の説明を聞く参加者たち

一般の参加者に会員を含め約70人の参加を得て、つどいの広場の北側に広がる「花の小径」周辺でツツジの再生を行いました。真弓さんの作業説明の後、4班に分かれて枯れ松の整理、ツツジの日照を妨げるヒサカキなどの常緑樹の伐採に取り組みました。刈り取った樹木は剪定ばさみで小さく切って集め、虫などの住処となるようにしました。剪定ばさみでの作業は小さな子どもたちでも楽しくできるため、人気がありました。

屋になり、くらぶ自慢のトン汁と原木しいたけのしょうゆ焼きが振舞われました。特に村田さんのしいたけ焼きは小さな子どもに大人気で、「おいしい、おいしい。」と何度もおかわりをする子も出るほどで、やはり採り立て、焼きたての味のよさが分かるのだと思いました。当日飛び入り参加の名古屋高年大学の面々も作業と昼食を楽しんでいただきました。



▲しいたけ焼きの香ばしい薫りに誘われ自然と人が集まる

午後は、午前の作業のやりすぎで少々疲れ気味で、早めに作業を切り上げ、10周年の柴刈り大会を終えました。(大館)

柴刈り  
作業中



作業後  
すっきり  
した林内





## 4月定例活動

山根口竹の除伐  
& 総会

10周年を迎えた最初の定例活動は、4月26日(土)朝からしよぼしよぼ降る雨の中での活動となりました。原因は三河湾から東濃地方にかけて南から流れる雨雲の影響で、知多や三河に大雨警報が出る春の嵐の天候です。

春を迎えてモウソウのタケノコが元氣よく伸び始めているなか、山根口に近い雑木林の斜面に竹が侵入するのを

防ぐために竹林と雑木林の境界を決めて、境界から上部の竹をすべて刈り取る作業を行いました。

雨の中の作業ということで参加者が少ないのではと心配しましたが、そこは森くらぶの面々、合羽での作業は慣れたもの。ノコギリと剪定ばさみを持って作業開始。普段はあまり気にしていなかったが、雨で濡れた竹の幹は砂埃がついて真っ黒の汁をたらし、手袋やズボンが真っ黒に。きつく、つらい作業も、きれいになっていく竹林の様子を確認できるようになると、「あと少し。」と元氣が出てくるから、不思議だ。

竹林との境界付近に積み上げられた竹の山が、きれいな竹の柵になり、作業は終わり。活動の後半には河野さんの知り合いのドイツからの若者が二人くらぶの活動を見学を訪れ、昼ごはんまで一緒しました。

結局作業中降り続いた雨は昼を過ぎて小雨になりましたが、総会を森の中で開くのは少し不安があったので、森さんに頼んで、急遽相生小の研修室で

午後1時から総会を開催しました。

総会は、19年度の活動報告と決算、20年度の活動計画と予算を審議し、最後に役員体制は前年とおりで約1時間程度で終了。

再度小屋に戻り、道具の手入れを行い解散となりました。



▲除伐した竹を整然と積み上げてできた竹林と雑木林の境界柵

役員体制は以下のとおりです。

○会長	大館 学
○副会長・運営委員長	真弓 浩二
○書記	近藤 眞史
○会計	村田 英二
○会計監査	森 勝
○副運営委員長	永田 修二
	(大館)

## 5月定例活動

## 小屋周辺整備



前日は夏日、一転して曇天の朝、予報は午後から雨でした。すでに集合時刻前から大館さんがメープル材を黒くなるまで焼く作業を始めていました。

私たちは先ずウッドデッキをサンドペーパーで丁寧に磨き、汚れを取った後、

防腐剤を塗布しました。去年、新調したときのように美しくなりました。土台を黒く焼き、デッキには物を置かずの使い方がよい状態を保っているようです。



▲何かと重宝なウッドデッキは毎年しっかりメンテナンスして良好な状態を保つ

一方、小径の整備は朽ちた階段をメープルの角材を焼いたものと置き換え、固定の為、先を尖らせた杭で押さえ歩き易い階段を再生しました。メープル材4本で新しい「橋も」入り口に設営されました。

3月末に村田さんの植え付けたジャガイモも可憐な花を咲かせていて数週間の内に収穫できそうです。



▲可憐なジャガイモの花

ビートルアパートの中も立派なカブトムシの幼虫が成長しています。小屋横の角材にはハチが巣を作っていて、森の中の生物もどんどん育っているのを実感しました。

11名の参加者でしたが、予定の作業を終えた頃、雨が降り出し解散となりました。(河野)

6月定例活動

# トンボ池周辺整備 & ジャガイモ収穫



6月の定例活動は、名古屋市の環境講座「身近な自然体験会」で大人7人、子供4人、会員10人の計21人の参加がありました。

活動は午前中、草刈りなどのトンボ池周辺整備とともに、池の東側の畑で、ジャガイモ掘りと畑の草取りを行いました。

ジャガイモは今年の3月に植えたのですが、掘ってみると大きなジャガイモがたくさん顔を出し、みんな

大喜びでした。この後、掘り取った畑を耕し草取りをし、整地しました。



▲身近な自然観察会の参加者も手伝い、雑草だらけのトンボ池周りがあつという間にスッキリ



▲子ども達もジャガイモ掘りを体験

昼休みには、ジャガイモをアルミホイールに包んで焼き、全員で食べました。中はホクホクで、味は甘さとしっとり感があり大変おいしかったです。

午後は、トンボ池の中をタモ網等ですくい、水生生物の調査をしました。



▲昼休みにウッドデッキで採れたてのジャガイモを味わう参加者たち

確認された種は、トンボのヤゴ72匹、ギンヤンマのヤゴの抜け殻1個、ヒメゲンゴロウ4匹、モノアラガイ15匹、トノサマガエル(♂、♀)各1匹、ブラックバスの稚魚1匹でした。トンボのヤゴがたくさんいたのには驚きましたが、さらに驚いたのはブラックバスの稚魚がいたことです。たった1匹ですがどこから来たのでしょうか、こんなふうにブラックバスは増えていくのでしょうか、みんな首をひねるばかりでした。

最後に、整地した畑に全員で、サツマイモの苗を植え付けました。収穫は10月26日(土)の定例活動日の予定です。楽しみです、是非参加しましょう。(阿部)

## シリーズ『森の住人たち』⑳

～シロスジカミキリ～

—日本最大級のカミキリムシ—



右の触覚がないシロスジカミキリ

ある夏の日のことである。森の散歩路を歩いていると、カミキリムシは転がっているのを見つけた。

体は横倒し状態で、命をすでに終えていた。それにしても大きい。一

シロスジカミキリ カミキリムシ科

体長 45～55mm 分布 本州～九州

食樹 クリ コナラ アベマキ

見して50mmはあることが知れた。見慣れたゴマダラカミキリは、30mm内外であることからして、はるかに大きなサイズである。ボリューム感たっぷりだ。黒い体には、刷毛で一刷毛、二刷毛したような白い斑紋がはいっている。長い触角の右側は、無くなっている。

調べると、シロスジカミキリ(白筋髪切)だった。日本に生息する約300種のカミキリムシのなかでも最大級のカミキリムシであるという。図鑑に載っている木肌にとまったシロスジカミキリムシをみて、疑問が湧いた。斑紋が白ではない。黄色っぽい色なのだ。解説文を読み進む。

「成虫の体の“黄筋”は、死んだ後には“白筋”となる。標本を基に命名されたらしい」とある。死が斑紋の色を変化させるようだ。

岐阜県出身の先輩は、カミキリムシの幼虫を「ゴトムシ」と呼んでいた。山間部では蛋白源として食されたという。また風邪をひいたときなどは、特効薬として貴重なものだったという。ものない先人たちの知恵の深さは、驚異である。

夏、森を散歩するときは、シロスジカミキリに出会いたい。もちろん、斑紋は“黄筋”であることを望みながら、ゆっくり歩こう。

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)



## 弥富相生山線の道路工事現場見学

6月14日(土)名古屋市道路建設課の案内で、現在建設が進められている弥富相生山線の工事現場見学会を行いました。名古屋市からは山中道路係長ほか2名、くらぶからは5名(伊藤晶、村田、永田、近藤真、大館)が参加しました。

下山畑交差点近くにある現場詰所で山中さんと担当の梶野さんの説明を受けました。

工事区域西端の下山畑から東へ全延長892mの約半分の造成工事が終わっており、現在は西側の橋梁部と相生山側のよう壁部の工事中です。現在通行止めとなっている稲田口から森への通路は、将来橋梁の下を経由するルートで現在の散策路とほぼ同様の位置で復元されるそうです。また下山畑交差

点からの道路の北側から、新たにオアシスの森の中に導く散策路を計画しているそうです。環境に配慮した道路ということで、在来植生によるシェルター上部の植栽や、生き物のためのエコトンネルなどの説明も受けました。



▲現場詰所付近  
(奥にシェルター構造部が見える)

会員からは、地下水位のデータや、森の手入れに必要な作業小屋の計画な

どに関する鋭い質問が寄せられました。このあと造成工事中の現場を見て回りました。

当初1時間程度とお願いしてあったこの見学会は、2時間半にも及び今後の植生活活に関する協力要請などもあり、非常に和やかな雰囲気で行われました。

気になる完成は22年度春の予定だそうです。(大館)



▲地形改変を抑えるために設置された擁壁が続く区間

## Schedule

【定例活動予定】

集いの広場 10:00集合

8月23日(土) クラフト・巣箱づくり  
(会場・集合場所：相生小学校 研修室)

9月27日(土) 柴刈り大会・いのちの谷整備

10月25日(土) 第10回どんぐり祭り

11月22日(土) 竹林の整備

12月27日(土) 正月準備&梅の剪定

## ●●●●● 会員募集中! ●●●●●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。  
○振り込み先(郵便局) オアシスの森くらぶ 00860-7-33725

## Information

【参加申込み・お問合せなど】

事務局

伊藤百寿人 052-895-8523

中島己治男 052-803-9534

【Eメール】

Mail address :

aioyama-moriclub@mail.goo.ne.jp

★参加申し込み・お問い合わせなどをメールでも受け付けています。

★会員の皆さんへ・・・活動に関する各種の情報を提供するため、メールアドレスをお持ちの方はお知らせ下さい。

【ホームページ】

URL address :

<http://f44.aaa.livedoor.jp>

[/~oasis/index.html](http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/index.html)

★ニュースレターのカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。

★定例活動・特別活動の報告や予告などを随時更新しています。

ホームページ管理・作成スタッフを募集しています!  
お手伝いいただける方、興味のある方、是非ご一報を!!